

【六月の言葉（令和五年）】

世の中は、「見える世界」と

「見えない世界」で成り立っている。

いのちも「見えるいのち」と「見えないいのち」があります。人間や動物そして花や木は見えるいのちですが、見えるいのちは、「見えないいのち」によって生かされています。「見えないいのち」は、花や木の根のように休みなくはたらき続けています。「おかげさま」ということは、「見えないいのち」のはたらきに気づくことです。

私たちは、たくさん見えないものの中で暮らしています。人間の心(思い)、大自然(宇宙)の営み・・・、そして『仏様の願い』『仏様のはたらき』・・・目には見えません。

人間は、「見えるもの」しか見なくて、「見えないもの」になかなか気づかない。それ故に、生かされて生きているという「いのちの事実」を教える仏法を聞かなければいけないのです。

「私のいのちは、見えない大切なものによって支えられている。何とありがたいことだろう」と思えることが、人生を豊かにします。外見が衰え、たとえ不自由な身になっても、歳をとるということを「ありがたく」感じる事ができたら・・・すばらしい。